



## えひめの小学生のみなさんへ

新型コロナウイルスの感染が広がっており、不自由な生活が続いています。そのようななかでも、私たちの生活が、多くの人々の努力によって支えられていることを、忘れてはいけません。

感染症の広がりや病気の治療をしてくださる医療関係者の方、マスクや薬を作ったり販売したりしてくださる方、生活に必要なものを届けてくださるトラックドライバーさん、バスや電車の運転手さんなど…。感染の危険が高まるなか、予防を徹底しながら、一生懸命働いてくれています。そして、その家族のみなさんも、働く人を支えながら共にたたかっているのです。

日本中のみんなが大変なときだからこそ、社会を支えてくださっているすべての方々に、「ありがとう」の気持ちを伝えたいですね。小学生のあなたなら、どんなことができるでしょうか。

学校では、仲間を大切にする学習をとおして、いじめや差別を許さず、その解決に向けて行動することのすばらしさを学んできました。

想像してほしいのです。今、うわさや不確かな情報に流されて、仲間外しにしたり、嫌がらせをしたりすることは、誰かを傷付け、生活を奪い、生きる希望を失わせることにつながるということを。

もし、あなたの心が傷付いたり、あなたのそばにいる人がいじめられたりしたときは、決してひとりで悩まず、すぐに家族や友達、学校の先生など、信頼できる人に相談しましょう。直接相談しにくいときは、悩みを聞いてくれる相談窓口を利用することも忘れないでください。

いじめ相談ダイヤル 24	新型コロナウイルス感染症に関する教育相談
0120-0-78310 (24時間いつでも無料で相談できます)	教育相談室 089-963-3986 特別支援教育室 089-909-7424 (8:30~17:15 月~金)

### 保護者の皆様へ

感染拡大の終息への見通しがなく、不安な毎日をお過ごしのことと思います。そのようななか、間違った情報や偏見に基づく言動によって、人が傷つくようなことがあってはいけません。今こそ、保護者の皆様には、正しい判断によって子どもの手本となる行動と見守りを、どうかよろしくお願いいたします。

## えひめの子どもたちへ

新型コロナウイルス感染症について、いろいろなお話を聞いて、不安な気持ちになっている人もいます。このようなときこそ、私たちは、強くつながり、ウイルスに負けない絆をつくらなければなりません。

新型コロナウイルス感染症に関して、様々な立場の人たちが傷付けられる言動が見聞きされています。

検査を受けた方、感染した方、病気の広がりを予防するために働いている方、外国出身の方、海外旅行から帰ってきた方、そして、それぞれの家族の方。みんな新型コロナウイルスという見えない敵と勇敢にたたかい、立ち向かっている人たちです。このような人たちを傷付けるような言葉や行動は、決してあってはならないのです。

また、うわさや嘘をSNSで発信したり、それをうのみにして拡散したりすることは、不安をさらに広げる行為です。身近な人と確認し合ったり、科学的に考えたりすることで、間違った情報にまどわされることはずいぶん少なくなるでしょう。

不安な気持ちを抱えている人はたくさんいます。でも、不安な気持ちを、誰かを攻撃したり仲間はずしにしたりする気持ちに変えてはいけません。みんな同じ社会で、ともに生きる仲間です。「大丈夫?」「たいへんだね」と声をかけ合い、寄り添い、「いっしょにがんばろう」と強くつながれば、きっと、この不安と危機を乗り越えられるはずで

す。

たたかう相手は、ウイルスです。

今こそ、力を合わせるときです。みんな、いっしょにがんばろう!



それでも、もし、心が傷付いたときには、決してひとりで悩まず、すぐに家族や友達、学校の先生など、信頼できる人に相談しましょう。直接相談しにくいときは、悩みを聞いてくれる電話相談などの相談窓口も利用できます。

【相談窓口】

いじめ相談ダイヤル 24 0120-0-78310 (24時間いつでも無料で相談できます。)

## 保護者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症に関連して、様々な人権侵害が報道されています。私たちは、西日本豪雨災害の経験を通して、人の絆の強さと大切さを学びました。今こそつらい思いをしている人の立場に立ち、皆でこの不安と危機を乗り越えていくべき時です。

また、感染症予防に関する科学的知識や思考は、正しい情報を選択するために必要なことです。県など公的機関が発信する情報にもご留意いただき、地域・御家庭において、正しい理解を得られるよう話し合い、誰一人として傷付くことも傷付けることもないように、子どもたちへの指導、見守りをお願いいたします。